

みやぎ生協

● 学校部の復興支援のとりくみ「リコーダーコンサート」

みやぎ生協学校部・宮城県学校用品協会では、昨年引き続き、取引先メーカーのトヤマ楽器製造(株)のご協力を得て、11月18日(月)～22日(金)の期間、県内11の小学校でリコーダーデュエット演奏会を開催しました。この企画は「みやぎの子どもたちに笑顔を！」をテーマに行っている学校部の支援活動の一つです。

講師の 笠松徳司さんと佐藤創さんは、東京リコーダー協会に所属し、全国の学校で数多くの演奏会を行い定評のある先生方です。音域の異なる8種類のリコーダーを使つての「ルパン

三世のテーマ」など楽しい楽曲を演奏していただきました。

津波被害が大きかった気仙沼では、震災以降家庭問題(離婚が多い)、不登校児童の増加など、学校では様々な問題を抱えているようです。そんな中、気仙沼市で開催したある小学校の演奏会では、校長先生が「リコーダーの音色の素晴らしさが子どもたちの心に届きましたね。今日はいつもよりおとなしくじっと聞き入る子どもが多かったようです。やってもらってよかったです」と話されていました。また、石巻市のある小学校では、子どもたちだけでなく、保護者



いろいろなリコーダーに
びっくり!



素晴らしい音色の演奏を聞く石巻市立住吉小学校の子どもたち

の方も一緒に楽しい演奏に聞き入っていました。

(学校部次長 石川了)

● みやぎ生協ボラセンニュースのご紹介

みやぎ生協ボラセンニュースは、月2回発行しており、メンバー(組合員)のボランティア活動や、被災地の過渡期の状況、ボランティア募集情報などを、ご案内しています。最近のニュース(VOL. 91)の中から、一部ご紹介します。

(生活文化部

山田尚子)

**みやぎ生協
ボラセンニュース**

Vol91 2013年12月4日(水)
発行：みやぎ生協ボランティアセンター
発行所：仙台市青葉区(仮)女4-4-2 みやぎ生活文化センター
(月～金9:30～18:00、土は受付のみ)
TEL:022-218-3880 FAX:022-218-3663
E-mail: sru@fukushien@tdbook.jp
http://www.miyagi.coop/support/shien/

◆被災地の今◆

【生活再建～すすみ具合にばらつきが】

国から支給される生活再建支援金は、住宅の被害程度に応じた基礎支援金と、再建方法に応じた加算支援金に分かれています。

報道によると、県内で基礎分を受給した12万8134世帯のうち、10月末現在で、5割強にあたる世帯(7万1756世帯)が、建築・購入、補修、賃貸のいずれかの方法で住宅の再建を行い、加算分を受給したそうです。

しかし、市町別でみると、利府町や仙台市、松島町などが6割以上なのに対し、中心部の被害が大きかった女川町や南三陸町、気仙沼市などでは2～3割程度とのことで、住宅再建のすすみ具合に差があることがわかります。

また、再建する方がいる一方、未だ3万8000世帯以上がプレハブもしくはみなし仮設住宅での生活を余儀なくされています。

ふれあい喫茶の参加者には、災害公営住宅などがなかなか決まらない苛立ちや「たぶん最後まで仮設住宅にいるから、ずっと来てね」と話される方も。不安な気持ちに寄り添えるよう、活動を続けていきます。

◆各地で秋まつりが開催されました◆

10月下旬～11月店舗やメンバー集会所で「秋まつり」が開催され、いくつかの会場では、手作り商品販売や募金活動、ふれあい喫茶なども一緒に取り組まれました。その一部を紹介します。

▲岩切店では、仮設住宅住民による手作り商品を販売

▼八木山店では生産者支援募金活動を実施

※詳しい内容は、みやぎ生協ホームページ「東日本大震災からの復旧・復興をめざして」をご覧ください。

URL <http://www.miyagi.coop/support/shien/>

● 食のみやぎ復興ネットワーク「わたりのそばプロジェクト～復興亙理そば～」

食のみやぎ復興ネットワークでは、震災後の亙理でソバの栽培にチャレンジする生産者を、加工食品（年越し蕎麦など）の開発や様々なイベント（花見会・おひろめ試食会・発売開始会）などを通じて応援する「わたりのそばプロジェクト」に取り組んでいます。



11月に収穫されたばかりのソバを使って開発した「復興亙理そば」が、12月15日から31日まで、みやぎ生協全店で発売されました。収穫されたソバの風味を生かすために殻と実をいっしょに挽いた「一本挽き」蕎麦粉を使って藪そば風に仕上げ、宮城県産ソバ粉を使ったソバの製造経験が長い（株）だい久製麺が製造しました。

発売に先駆け「おひろめ試食会」を11月26日（火）に、みやぎ生協亙理店で開催し、これまでの活動紹介と試食のふるまいを行いました。「あっさりだ



復興亙理そばの試食会の様子

けどコシがあって美味しい」「みんなでふるさと亙理の復興を祈りながら年越し蕎麦で食べたい」といった歓迎の声が聞かれました。

（みやぎ生協店舗商品部・食のみやぎ復興ネットワーク事務局 事務局長 藤田孝）

宮城労働者共済生協

● 「ぼうさいカフェ in みやぎ」開催報告

全労済宮城県本部では、9月28日（土）・29日（日）に勾当台公園で「ぼうさいカフェ in みやぎ」を開催いたしました。

「仙台放送まつり」にブース出展したもので、タブレットを使用し簡単に防災・減災のことが学べ考えることができる「親子で学べる防災クイズ」の実施や、非常食「乾パン」の試食を行いました。

また、大河原消防署・東北福祉大学のご協力のもと、消火器の模擬訓練や家具の落下を防ぐ

突っ張り棒など防災用具をまとめて観覧できる「もりぞう」を展示させていただきました。

小さなお子さま連れのご家族をはじめ、大人の皆さまもご自身の防災の意識を見直す機会として楽しみながら熱心に体験されていました。

ご来場いただきました皆さま、およびご協力いただきました各方面の皆さまに、この場をお借りして御礼申し上げます。ご来場ありがとうございました。

（専務理事 畑山耕造）



「ぼうさいカフェ in みやぎ」のブース



模擬消火器訓練にチャレンジ